

第17回村山デエダラまつり 展示パネル一覧

性の多様性

性のあり方から考える 「あたし」

宮城県山形市男女共同参画センター一歩一い

多様な性って何？

自分は女性で好きな相手は男性
好きって何？友達の恋愛話に共感できない
体の性別は男性だけど自分で女性だと思ってる
自分の性別を「〇〇」とは言い表せない
学業や考え方に驚かれて嬉しかった性別は関係なかった

上にあげたのは様々な性のあり方のほんの一部です。このように、性のあり方は人の数だけあり、一人ひとり違っていることをSOGIE（ソジエ）といいます。性のあり方は多様にもかわらず、「異性を好きになるのが当たり前」「いつかは好きな人ができるはず」と考える人が多くいます。多数派の考え方が当たり前になってしまっていますが、その当たり前に「そうなのか？」と疑問を持つことは、自分とは違う人のあり方に目を向け考える一歩になります。

宮城県山形市男女共同参画センター一歩一い

ソジエ SOGIE

(Sexual Orientation)

すべての人の「性のあり方」は以下の4つの要素から考えることができます。

からだの性	性自認 (Gender identity)
性に関する身体的・生物学的特徴のこと。SEX	自分の性のように認識しているかということ。
性的指向 (sexual orientation)	性表現 (Gender expression)
どういった性に対して恋愛感情や性的感情を感じるか、感じないかということです。	自分のあつた性どおりに表現するか、どのように見せたいかということです。

例として「女性が好き」な性的指向、恋愛傾向が女性に向いている、といえます。

宮城県山形市男女共同参画センター一歩一い

例えば、
・体は女性
・心は女性
・恋愛対象は男性
の彼女は

性のあり方はそれぞれの要素で「男性or女性」にはっきり分かれるものではなく、グラデーションになっています。

私は女なんだけど、セックスしたい相手は男ばかりじゃないし、女性にsexしても嫌われない感じがたまらなくいいよ。

自分が男。だけど女性と付き合いながらでも何も無碍でないと思って、好きな人と一緒にいる方が気持ちいいんだ。

あなたはどうか？

宮城県山形市男女共同参画センター一歩一い

LGBTQ+ から SOGIEへ

様々な集団の中で生活するとき、LGBTQ+の当事者は性的マイノリティ(性的少数者)といわれます。メインリティとは「少数派」という意味です。対して「多数派」のことをマジョリティといいます。

LGBTQ+という考え方は、「LGBTQ+である人」、「LGBTQ+でない人」と分けて考えてしまうことがありますが、**SOGIEは、世の中全ての人に性的指向と性自認があるということを意味します。**

それが、100%に近い人ははっきりしている人もいれば、0%に近いくらいとされている人もいます。みんなが多様な性のグラデーションの中のどこかで生きているということです。

宮城県山形市男女共同参画センター一歩一い

LGBTQ+ を知ろう

- G：ゲイ**
性的指向が男性で、性的傾向が同性性に向く人
- B：バイセクシュアル**
性的指向が両方とも向く人も向く人
- L：レズビアン**
性的指向が女性で、性的傾向が同性性に向く人
- T：トランスジェンダー**
法律上の性別と性自認が異なる人
- Q：クwestionsマーク**
性的指向や性自認が決まっていけない、はっきりしない、決めたくない、決める人

まだまだある「多様な性のあり方」

- M：モノセクシュアリー**
男の人としか関係がない、男の人としかセックスしたくない、男の人としか関係がない人
- P：ポリセクシュアリー**
複数の性に対して恋愛感情や性的感情を感じたり、経験したりする人
- A：アセクシュアリー**
性的指向が不明瞭で、性的傾向が不明瞭な人
- F：フェミ**
フェミニズムに関心がある人、女性力、女性意識が高い人

宮城県山形市男女共同参画センター一歩一い

性の多様性

性的マイノリティの人々にとって

生きづらい社会

性的マイノリティかどうかは外見からは判別がつきにくいこと、
当事業の大半は自己防衛のために、やむを得ず多数派を装
っていることもあり、多(い)の(人)が(自分の周囲に性的マイノリ
ティは)ない(と)思(っ)が(て)る。でも、実際に身近にい
て、いろいろな差別に苦しんでいる人もおられます。

パートナーシップ制度

現在、日本では戸籍上の男女のペアでしか結婚できません。同性間
の夫婦は結婚は認められていません。
そこで、自治体によってはパートナーシップ制度によって「結婚に相
当する関係」として証明を発行し、様々な社会的配慮を受け
やすい(とする)制度が「パートナーシップ制度」です。
東京都山手区に独自の制度はありませんが、東京都の「パート
ナーシップ宣言制度」を利用できます。

パートナーシップ制度でもきこえ

- ・制度で保護される扱いを受けられない
- ・会社では採用して貰えない
- ・生命保険の取り扱いにパートナーを
指定できない等

裁判所審判料

同性カップルが、民法や戸籍法で同性婚が認められないのは違憲だとし
て、国を相手とする訴訟を起こしています。国々々「国裁」判決がでて
る中、国裁の判決を尊重し、平等な社会を目指すことを見出す
べきではないかと考えられています。

東京都山手区男女共同参画センター9-あい

「プライド」という存在

「プライド」は英語で「矜持・支度者・仲間」を意味します。SOSを出しつづける性的マイノリティ当事者の方たちを理解し、共感し、寄り添いたいと思っている人たちを指す言葉として使われます。

誰かがどれかの「プライド」をいえるためには、「差別を止めてしまうことがある」ということを自覚し続けることが大事です

最近では、取り組みを進める企業や団体等が増えています。企業や団体でのプライドの活動事例としては、啓発セミナーの実施やプライドイベント（LGBTQ+の権利を訴えるとともに、存在を祝福するイベント）への参加など、LGBTQ+を「知る」ことによりカスした啓発活動、また、シールなどのグッズの配布、利用によりプライドであることの表明機会の創出などです。

武蔵村山男女共同参画センターうーあい

レインボーカラー

6色のレインボーカラーは、LGBTQ+をはじめとするセクシュアル・マイノリティの尊厳と社会運動のシンボルとして使われています。

赤（生命） 橙（愛し） 黄（太陽）
緑（自然） 青（平等と調和） 紫（精神）

レインボーカラーを身に
着けている人がいたら、
それは「アイイ」がもしれません。

わたしたちにできる大切な2つのこと

他人の「性のあり方」を
勝手に決めつけないこと

本人の同意なしに、その人の
「性のあり方」を第三者に
暴露（アウティング）しないこと

武蔵野・山手男女共同参画センターあおい

東京都PS宣誓制度

“自分らしく”を、この街で。

東京都パートナーシップ宣誓制度

東京都パートナーシップ宣誓制度とは、
地方自治体におけるパートナーシップ・イデオロギイ（結婚意識）を、
人生のパートナーとして目の見えない生活に支障を被るに陥らなくともうけた。
パートナーシップ制度に基きこころの安らぎ・帰属を
東京都が保障し、そこを基盤に関係機関等と連携するものです。

安住型等費の活用先（一例）

住宅購入時のペイロメントの活用
携帯電話の家族間の利用
区部外における宴会の開催等
会社の福利厚生制度の利用

令和4年度の制度開始以降、1,700組を超える方々が利用しています。

東京都 詳しく知りたい方は、東京都関係機関入庫部へお尋ねください。
東京都パートナーシップ宣誓制度 [お問い合わせ](#)

アンコンシャス・バイアス

[illegible][illegible]

